



地域農業の拠点として親しまれている農産物直売所「旬の里ねぎぼうず」は、直売所として新鮮な野菜を買える場所でありつつも、年齢関係なく組合員同士が交流し合う大切な場。その中で活動する「ねぎ若会」は、30代から50代の農業者やスイーツ・惣菜などの加工品を生産する直売所の組合員で構成されており、多彩な顔ぶれで若い世代に農業の魅力を伝えることを目標に、活発に活動を続けています。

主な取り組みの一つが、地域イベントへの出店。採れたての地元野菜を販売するだけでなく、地元産の素材を生かした加工品も並べ、出店の度に必ず買いに来る常連もいるとのこと。また、子どもたちの食育を目的とした「おえかきコンクール」を季節ごとに開催しています。野菜をテーマに描かれた作品は直売所に展示し、多くの人に親しまれており、子どもたちにとっては、食や農業への興味を育むきっかけになっています。

さらに、毎月学習会を開き、農業技術だけでなく、加工品作りの講習や販売戦略など幅広いテーマで学び、情報交換も行っています。農業を営む上で、さまざまな情報は必要不可欠であり、「繋がりにくくして農業はない」

いきいき仲間たち

地域農業の拠点から 農業を盛り上げる！

旬の里ねぎぼうず ねぎ若会

という思いのもと、仲間同士で知恵を共有しながら成長しています。

そんな精力的に活動しているねぎ若会は、新たな挑戦として、地元野菜を使った加工品を考案し、「旬の里ねぎぼうずに行けば特別なものがある」と感じてもらえるようなオリジナル商品の開発にも取り組んでいます。

部会長の清宮智洋さんは「農業は自然を相手にする厳しさもありますが、やりがいのある仕事です。私たちの活動を通じて、これから農業を始めようとする若者や、新しい挑戦を考える人が“ここなら頼れる”と思ってくれる存在でありたい」と語ります。

若い世代として積極的な取り組みを続ける「ねぎ若会」。世代や分野を超えて地域の力をつなぐその歩みは、地域農業の未来を明るく照らしています。



▲地元野菜をイベントで販売

防災・防犯に関する情報をメールで配信

もばら安全・安心メール を
ご利用ください

登録

右のQRコードを読み取るか、下記メールアドレスに空メールを送信後、返信されたメールに記載されている手順に従って登録してください。

touroku.mobara-city@raidan2.ktaiwork.jp



※高齢者等を対象に、防災情報を自宅の電話・FAXに配信するサービスも行っています。

問合せ 防災対策課 (4階) ☎(36)7580 FAX(20)1602

今月の日曜開庁	10月26日⑩ 8時30分～17時15分
市民課(2階)	☎(20)1502
市民税課(2階)	☎(20)1577
収税課(2階)	☎(20)1578
本納支所	☎(34)2111
証明書等交付時間を延長	毎週水曜日 19時まで
市民課(2階)	☎(20)1502

※一部取り扱えない業務もありますので、詳しくはお問い合わせください。

日曜・休日当番医	診療時間 9時～17時	
	《内科系》	《外科系》
10月5日⑩	長生八積医院 ☎(32)3282	穴倉病院 ☎(24)2171
10月12日⑩	君塚病院 ☎(25)1811	塩田記念病院 ☎(35)0099
10月13日⑪祝	鵜澤医院 ☎(34)2008	菅原病院 ☎(25)1171

※都合により、変更する場合があります。救急患者が優先となります。消防本部中央消防署☎(24)0119、FAX(25)8448へお問い合わせください。

防災行政無線が再確認できます

しみんは 119

☎0120(438)119
(通話無料)

【人口と世帯数】 令和7年9月1日現在

- 総人口 85,371人
- 世帯数 42,331世帯
- 男 42,264人
- 女 43,107人

【8月中の動き】

- 転入 183人
- 転出 215人
- 出生 47人
- 死亡 112人